

平成 26 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立鯨江東小学校 学校協議会

1 総括についての評価

- 本年度の学校の自己評価結果は妥当である。
- 目標達成に向けて、いろいろな取り組みをしている。児童や保護者のアンケート結果からも、成果もあがっていることがよくわかった。
- 図書館を整備し、いろいろな取り組みで子どもの読書意欲を高めようとしている。読書アンケートで成果が表れてきている。
- アンケートはいろいろな情報を得ることができる。ただし、アンケートを取る時期や回答の選択肢等によって変わってくるので難しい面もある。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：学力の向上

- ① 本年度の学習理解度到達診断において、平均正答率を昨年度より向上させる。
(カリキュラム改革関連)
- ② 理由づけをして意見を述べたり書いたりできる児童を 50 %以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ③ 本年度末の本校の学校生活アンケートで、国語・算数の授業の内容が「あまりわからない」「わからない」と回答する児童の割合を昨年度より減少させる。
(カリキュラム改革関連)
- ④ 本年度末の本校の保護者アンケートで「学力を定着させるような授業がおこなわれている」と回答する保護者の割合を前年度より向上させる。
(マネジメント改革関連)
- ⑤ 本年度末の学校生活アンケート調査で、次の各項目について、肯定的な回答の割合を平成 25 年度より増加させる。
 - ・本を読むのが好き。
 - ・家でよく読書をする。
(カリキュラム改革関連)

- 達成状況の評価に関しては妥当である。

- 国語・算数の授業内容が「あまりわからない」「わからない」と回答する児童は、後期は前期より少し増えているが、昨年度よりは減っているので、よくがんばっている。
- 国語科の研究を始めて、1 年目。大学の先生の指導も受けながら、研究に取り組んでいるようすがわかった。
- 読書については、いろいろな取り組みをしているのがよくわかった。読んだことをアウトプットすることで、自分のものになっていく。

年度目標：道徳心・社会性の育成

- ① 本年度末の本校の学校生活アンケート調査で、自尊感情や規範意識に関連する次の各項目について「当てはまる」と回答する児童の割合を昨年度より増加させる。
 - ・ 自分にはよいところがある。
 - ・ 宿題や勉強道具を忘れずに持ってきてている。
 - ・ きまりや約束事を守っている。
 - ・ あいさつをしている。
(カリキュラム改革関連)

<p>② 本年度末の本校の保護者アンケート調査で「集団意識を高めるとともに、豊かな心を持つた子どもを育てようとしている」と回答する保護者の割合を昨年度より増加させる。</p> <p>③ 本年度末の本校の学校生活アンケート調査で、「災害や事故・事件などから身を守るためにどのように行動したらよいかを知っている」と回答する児童の割合を75%以上にする。</p>	<p>(マネジメント改革関連)</p> <p>(カリキュラム改革関連)</p>
<p>○ 達成状況の評価に関しては妥当である。</p> <p>○ 生活強調週間の自己評価は、高学年になるほどできていない項目がある。「当たり前のこと」がきちんとできるように指導を続ける。</p> <p>○ あいさつや児童の服装からでも、心や家庭環境の変化を感じられる。</p> <p>○ 体験活動は今年もたくさん実施されている。</p> <p>○ 地域と連携した防災訓練は、児童の意識を高めるうえでも大きな成果をあげた。繰り返し実施することが大切である。</p>	
<p>年度目標：健康・体力の保持増進</p>	
<p>① 本年度末の本校の学校生活アンケート調査で「健康に気をつけてている」の項目について、「(どちらかといえば) 当てはまる」と答える児童の割合を75%以上にする。</p>	<p>(カリキュラム改革関連)</p>
<p>② 本年度末の本校の学校生活アンケート調査で「運動することが好き」の項目について「当てはまる」が70%以上、「どちらかといえば当てはまる」を合わせた肯定的な回答の児童の割合が90%以上の現状を維持できるようにする。</p>	<p>(カリキュラム改革関連)</p>
<p>③ 本年度の体力テストにおいて、特に課題のある長座体前屈とソフトボール投げの記録で前年度より上回る。</p>	<p>(カリキュラム改革関連)</p>
<p>○ 達成状況の評価に関しては妥当である。</p> <p>○ 健康週間がんばりカードでは、ハンカチ・ティッシュの携帯がどの学年も他の項目より低い。引き続き声掛けする。</p> <p>○ 体力テストの結果、ソフトボール投げは成果が上がっている。柔軟性はなかなか成果が表れないが、継続して取り組みをする。</p> <p>○ シャトルランの結果があまり良くないのは、持久力だけでなく、頑張る気持ちに少し欠けるのではないかと思う。</p>	

3 今後の学校運営についての意見

- 自己評価の結果は概ね良好で、達成状況も妥当である。さらに取り組みや啓発を進めていく。
- 学校図書館の整備をさらにすすめて、読書好きな児童を育てていく。
- 児童の問題行動については、これからも関係機関等の指導・助言を得ながら、児童一人一人にあった対応をしていく。
- 学校選択制により、校区外から1年生が10人入学てくる。保護者と連絡を密にとり、児童の安全意識の向上にも努める。さらなる見守りをお願いしたい。(学校より)
- たくさん項目についての取り組み結果を短時間で見て、話し合えるように、写真やグラフ等を交えた資料が用意された。十分な意見交換には、さらに工夫がいる。